

令和5年度 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館の事業実施状況

1. 入館者状況

開館（平成14年8月）以来、令和6年3月末までの入館者数は、5,307,831人となっており、同期間の平和記念資料館入館者（27,993,755人）の19.0%である。【過去3年間の月ごとの入館者数を9ページに記載】

（参考）年度別入館者数

区分	入館者数	1日平均 入館者数	対前年比	外国人 ^(注) （内数）	
				入館者数	対前年比
令和3年度	62,058人	297人	89.4%	3,672人	87.5%
令和4年度	188,170人	518人	303.2%	31,941人	869.9%
令和5年度	395,372人	1,095人	210.1%	142,073人	444.8%
累計	5,307,831人	—	—	—	—

（注）外国人入館者数とは、総合案内において外国語版のリーフレット又はチラシを配布した人数を集計している（平成24年度から集計開始）。

2. 原爆死没者の氏名・遺影の登録・公開

広島県内各市町での葬祭料給付申請時や、平和記念式典への参列案内時に遺影登録の案内をするほか、8月6日に原爆死没者名簿への登載確認等との共同窓口を設置している。

また、被爆者証言ビデオの収録や被爆体験記執筆補助事業などの機会をとらえ、登録申請を呼びかけた。さらに、遺影登録に際し、マスコミに情報提供するなど遺影登録の周知を図った。

この他、令和5年度は、関東4都県と愛知県の被爆者対策担当課へ出向き、直接、遺影登録等についての案内を依頼した。

（参考）年度別登録状況

区分	原爆死没者数（登録数）	対前年比
令和3年度	753人	115.8%
令和4年度	1,005人	133.5%
令和5年度	1,124人	111.8%
累計	27,321人	—

3. 被爆体験記等の収集・整理・公開

各都道府県の窓口にて体験記等の収集を周知するチラシを配布したほか、被爆者証言ビデオ収録などの機会をとらえて被爆体験記の提供を呼びかけるとともに、体験記執筆補助事業（平成 18 年度開始）により収集に努めた。また、新聞等に掲載された被爆体験記の記事を確認し、発行者等へ照会して、寄贈又は購入の依頼を行った。

収集した被爆体験記については、より一層の活用を図るため、データベース化、イメージデータ化及びテキストデータ化を推進し来館者の利便性の向上を行った。

（参考）年度別被爆体験記収集状況

区分	体験記収集数（編）					図書収集（冊）		公開数 ^{（注1）} （編）
	H7 厚生省	H17 厚労省	H27 厚労省	独自収集	計	購入	寄贈	
令和3年度	▲1	0	▲2	51	48	154	72	686
令和4年度	▲1	0	▲2	68	65	162	93	531
令和5年度	0	0	8	91	99	148	61	782
累計	81,203	11,778	11,339	3,647	107,967	2,591	3,416	149,044

（注1）被爆体験記として収集後、内容を整理・精査し登録対象外とする場合があり、また収集年度と公開年度が異なる場合があるため、各年度の収集数と公開数は一致しない。

（参考）被爆体験記のデータベース化等の進捗状況

区分	編数
館内公開体験記数	149,044
データベース化 ^{（注2）}	146,193
イメージデータ化 ^{（注3）}	107,902
テキストデータ化 ^{（注4）}	3,618

（注2）データベース化とは、来館者が閲覧を希望する被爆体験記を容易に検索できるよう、被爆体験記に書かれている情報に基づき、被爆者の氏名、年齢、所属及び被爆場所、登場する人物、場所及び時期などを、職員が分類・整理し、システムに登録する作業をいう。

（注3）イメージデータ化とは、館内公開している被爆体験記を、展示端末画面で容易に閲覧できるよう、被爆体験記をスキャンしてシステムに登録することをいう（平成 24 年度から実施）。

（注4）テキストデータ化とは、被爆者が書いた被爆体験記を読みやすく、また、将来、多種多様なキーワードにより検索が可能となるよう、被爆体験記を文字入力する作業をいう（平成 24 年度から本格的に実施）。

4. 企画展の開催

企画展示室（地下1階）において、下記のテーマに沿った企画展を開催した。関連資料を展示し、被爆体験記をディスプレイで閲覧できるようにするとともに、被爆者の証言映像及び被爆者自身が描いた「原爆の絵」等を交えた映像作品を制作し上映した。

なお、これらの映像資料についてはインターネットに掲載するとともに、平和学習資料

としてDVDや資料の貸出を行っている。

(1) テーマ「空白の天気図 ―気象台員たちのヒロシマー―」

・期 間：令和5年3月15日(水)～令和6年2月29日(木)

・内 容：原爆は、爆心地から約3.7km離れた広島地方気象台にも多大なる被害をもたらした。そうした状況下でも気象台員たちは、決死の覚悟で任務に挑んだ。また、被爆後わずか1か月で広島を襲った枕崎台風は、原爆被害を一層深刻なものにした。台員たちはこの二重の被害を後世に伝えようと、詳細な聞き取り調査を行い、調査報告書にまとめた。今回の企画展では、観測者の視点で記録された被爆体験記をもとに被爆の実相を明らかにする。(シアター映像の上映及び気象観測器等を展示)



(2) テーマ「暁部隊 劫火へ向カヘリ ―特攻少年兵たちのヒロシマー―」

・期 間：令和6年3月1日(金)～令和7年2月28日(金)

・内 容：太平洋戦争末期、陸軍の特別幹部候補生として集められた少年兵たちは、ひとり乗りのベニヤ製モーターボートで敵艦を撃沈させる特攻訓練を江田島で続けていた。しかし、死を覚悟していた彼らを待ち受けていたのは特攻ではなく原爆投下だった。救護へ急行した彼らが死の街広島で何を見て、何を感じたのか。彼らの心情に迫る。(シアター映像の上映及び暁部隊関連資料等を展示)



5. 被爆体験記執筆補助

体験記を残す意欲がありながら高齢等により体験記の執筆が困難な広島県内の被爆者を対象に、職員による聞き取りと代筆を行った。（平成 18 年度開始）

（参考） 年度別実施状況

区分	応募数	実施者数	辞退数 (体調不良等)
令和 3 年度	10 人	9 人	1 人
令和 4 年度	10 人	8 人	2 人
令和 5 年度	12 人	11 人	1 人
累計	217 人	188 人	29 人



被爆当時の地図などを見ながら被爆体験を聞き取りします

6. 被爆者証言ビデオ制作

被爆者団体等から推薦された広島県外在住の被爆者を対象に、長崎祈念館と協力（長崎被爆者については長崎祈念館が収録・編集を担当）し、その体験談をビデオに収録（令和 5 年 9 月～12 月）し、編集作業を行った。制作した証言ビデオについては、令和 6 年 6 月頃から館内の体験記閲覧室で公開する。



カメラを前に被爆体験を語っていただきます

（参考） 年度別制作状況

区分	実施人数	収録都道府県
令和 3 年度	21 人	山口 1 人、鳥取 3 人、愛媛 4 人、岡山 5 人、大阪 1 人、千葉 3 人、東京 4 人
令和 4 年度	13 人	東京 6 人、神奈川 2 人、大阪 3 人、福岡 2 人
令和 5 年度	14 人	青森 1 人、東京 4 人、埼玉 1 人、神奈川 2 人、愛知 1 人、島根 1 人、福岡 3 人、熊本 1 人
累計	432 人	45 都道府県で収録（広島県及び長崎県を除く。）

また、国外在住の被爆者証言ビデオの制作については、在外被爆者の減少による被爆者団体等の現地での活動縮小を理由に、収録対象者の確保・調整が困難であったことから、制作できなかった。

(参考) 年度別制作状況

区分	実施人数	国・地域
令和3年度	－	実施していない
令和4年度	－	実施していない
令和5年度	－	実施していない
累計	67人 (68本)	韓国(34人)、台湾(4人)、アメリカ(18人)、アルゼンチン(1人)、オーストラリア(1人)、カナダ(2人(うち1人は日本語、英語で2本収録))、ブラジル(5人)、メキシコ(2人)

7. 多言語化対応事業

海外から来館するさまざまな国や地域の人に、被爆の実相を母国語で伝えるため、令和5年度は被爆者証言ビデオの証言内容をアラビア語、スウェーデン語、ドイツ語、ハンガリー語、ヒンディー語、ポーランド語、マレー語、ロシア語の8言語に翻訳した。

また、被爆体験記を英語、中国語、韓国・朝鮮語の3言語に翻訳した。(証言ビデオの字幕及び体験記の翻訳言語数は24言語)

(多言語化の詳細を10ページに記載)

8. 被爆体験記の朗読事業

収集した被爆体験記を活用し、戦争や原爆の恐ろしさ、平和の大切さを語り継ぐことを目的に平成17年度から実施している。修学旅行生や市内の学校などを対象とした朗読会、毎月第3日曜日(日本語)、第2日曜日、第3火曜日、第4金曜日(英語)に開催する定期朗読会、5月3日～5日、8月5日、6日のビジュアル朗読会、市内近郊への出前朗読会も開催した。

また、全国で朗読会を開催したいとの要望に応えるため、朗読セットを国内6団体へ貸し出した。



祈念館内での朗読会

(参考) 年度別開催状況

(単位：回)

区分	定期	集中開催 5/3-5, 8/5-6	広島市内	原爆展	英語朗読 (英語定期含む)	計
令和3年度	12	13	34	開催なし	2	61
令和4年度	24	15	60	開催なし	13	112
令和5年度	22	18	59	海外1都市 (4回)	46	149

9. 被爆体験伝承者等の派遣

被爆の実相、平和への想いを日本全国の次世代に語り継ぐため、「被爆体験証言者」、「被爆体験伝承者」及び「被爆体験記朗読ボランティア」を、国内の学校等へ無料で派遣し、被爆体験証言講話、被爆体験伝承講話及び被爆体験記朗読会を実施した。令和5年度からは、「家族伝承者」及び「原爆体験伝承者（国立市が養成）」の派遣も開始した。

令和5年度は、全国に543件（証言講話22件、伝承講話484件、朗読会37件）の派遣を行い、延べ約7万4千人の児童・生徒等が聴講した。

（参考）地域別派遣件数

（単位：件）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	計
件数	12	20	127	63	228	57	14	22	543

（参考）申込団体別派遣件数及び聴講者数

（単位：件・人）

区分	小学校	中学校	高等学校	自治体	その他	計
件数	247	121	82	62	31	543
聴講者数	23,324	22,988	16,940	8,892	2,500	74,644

また、イギリスのダラム市に朗読ボランティア（2人）を派遣し、被爆体験記朗読会を通じて海外の人々と核兵器の恐怖や非人道性の認識について共有を図った。

- ・被爆体験記朗読会 4回 269人参加

10. 被爆体験伝承者等に対する語学等の研修

上記9の被爆体験伝承者等の海外派遣において、被爆の実相を正確に伝えることができるよう語学力の向上を図るため研修を実施した。

- ・被爆体験朗読ボランティア 2回

11. 修学講習の実施

被爆体験の次の世代への継承と平和意識の高揚を図るため、修学旅行などで広島を訪れた児童・生徒等を対象に、被爆者による被爆体験講話等を内容とする講習を追悼平和祈念館研修室で行った。

（参考）令和5年度実施状況

（単位：件・人）

区 分	小学校	中学校	高等学校	その他	計
件数	188	60	30	283	561
聴講者数	5,389	1,528	853	4,541	12,311
1団体あたりの平均聴講者数	28.7	25.5	28.4	16.0	21.9

12. 平和学習講習会でのPR

平和学習を目的として多くの修学旅行生に来館してもらうため、広島市主催の平和学習講習会において、学校関係者及び旅行会社等に対し、被爆体験継承など祈念館で実施している平和学習の紹介を行った。

(参考) 年度別開催状況

区分	開催都市		参加者
令和3年度	オンライン	令和4年8月16日	114人
令和4年度	オンライン	令和4年8月18日	199人
	大阪府大阪市	令和5年1月27日	34人
令和5年度	オンライン	令和5年8月8日	128人
	神奈川県横浜市	令和5年8月25日	29人

13. インターネットによる情報提供

当館の事業内容を、ホームページ <https://www.hiro-tsuitokinenkan.go.jp/> で広く情報提供するとともに、外部提供について同意の得られた被爆体験記及び被爆者証言ビデオを、順次、平和情報ネットワーク <http://www.global-peace.go.jp/> に掲載し情報発信した。

(参考) ホームページアクセス件数

区分	祈念館ホームページ	平和情報ネットワーク
令和3年度	623,182	5,360,976
令和4年度	727,274	6,847,635
令和5年度	798,235	18,905,309

※ 平和情報ネットワークは、広島・長崎両館が合同で運営している。

14. 情報展示システムの保守・管理および機器更改

来館者へのサービス向上及びシステムの安全性・信頼性を確保するため、情報展示システムの保守・管理を行った。

また、館内で使用している全機器の更改を行い、それに伴うシステム改修も行った。

15. 来館者増加対策等

広報紙、ホームページや新聞等を通じて情報発信に努めたほか、企画展の案内看板を屋外に掲出する等、あらゆる機会を捉え、PRに努めた。

16. 新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた取り組み

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症になったことから、次の対応に変更した。

変更前	変更後
・南側出入口を入口専用、北側を出口専用とし、一方通行の動線とした。 ・入館の際、検温、手指消毒を実施した。	・一方通行の動線を廃止し、出入口を南側、北側の2箇所とした。 ・入館の際、手指消毒を実施した。

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館の入館者数について（平和記念資料館との比較）

令和２年度

区 分	祈念館	資料館	割合	祈 念 館 対前年度比
R2 ４月	0	0	0.0 %	0.0 %
５月	0	0	0.0 %	0.0 %
６月	1,636	9,314	17.6 %	5.0 %
７月	3,920	19,797	19.8 %	13.2 %
８月	7,244	40,427	17.9 %	16.7 %
９月	10,153	38,362	26.5 %	28.0 %
１０月	11,448	66,339	17.3 %	24.7 %
１１月	19,486	85,199	22.9 %	51.8 %
１２月	5,162	27,462	18.8 %	26.2 %
R3 １月	0	404	0.0 %	0.0 %
２月	2,962	7,037	42.1 %	19.6 %
３月	7,402	34,249	21.6 %	／
合計	69,413	328,590	21.1 %	18.3 %
累計	4,662,231	24,479,605	19.0 %	－

令和3年度

区 分	祈念館	資料館	割合	祈 念 館 対前年度比
R3 ４月	5,054	20,158	0.0 %	#DIV/0! %
５月	2,294	15,337	0.0 %	#DIV/0! %
６月	1,455	6,615	22.0 %	88.9 %
７月	6,603	39,644	16.7 %	168.4 %
８月	1,948	9,643	20.2 %	26.9 %
９月	0	0	#DIV/0! %	0.0 %
１０月	9,637	67,337	14.3 %	84.2 %
１１月	15,037	107,564	14.0 %	77.2 %
１２月	9,719	77,496	12.5 %	188.3 %
R4 １月	2,311	16,864	13.7 %	#DIV/0! %
２月	0	0	#DIV/0! %	0.0 %
３月	8,000	45,329	17.6 %	／
合計	62,058	405,987	15.3 %	89.4 %
累計	4,724,289	24,885,592	19.0 %	－

令和4年度

区 分	祈念館	資料館	割合	祈 念 館 対前年度比
R4 ４月	8,758	46,981	18.6 %	173.3 %
５月	14,286	100,452	14.2 %	622.8 %
６月	12,123	73,041	16.6 %	833.2 %
７月	10,508	59,685	17.6 %	159.1 %
８月	19,521	113,685	17.2 %	1,002.1 %
９月	13,600	82,772	16.4 %	#DIV/0! %
１０月	18,280	130,893	14.0 %	189.7 %
１１月	21,696	148,349	14.6 %	144.3 %
１２月	14,636	91,951	15.9 %	150.6 %
R5 １月	13,087	61,322	21.3 %	566.3 %
２月	14,042	67,951	20.7 %	#DIV/0! %
３月	27,633	149,299	18.5 %	345.4 %
合計	188,170	1,126,381	16.7 %	303.2 %
累計	4,912,459	26,011,973	18.9 %	－

令和5年度

区 分	祈念館	資料館	割合	祈 念 館 対前年度比	資 料 館 対前年度比
R5 ４月	30,218	162,802	18.6 %	345.0 %	346.5 %
５月	29,142	174,513	16.7 %	204.0 %	173.7 %
６月	31,749	169,049	18.8 %	261.9 %	231.4 %
７月	28,799	149,828	19.2 %	274.1 %	251 %
８月	42,590	200,400	21.3 %	218.2 %	176.3 %
９月	34,688	176,535	19.6 %	255.1 %	213.3 %
１０月	49,495	237,858	20.8 %	270.8 %	181.7 %
１１月	43,864	216,283	20.3 %	202.2 %	145.8 %
１２月	21,574	120,586	17.9 %	147.4 %	131.1 %
R6 １月	19,196	85,443	22.5 %	146.7 %	139.3 %
２月	23,527	88,504	26.6 %	167.5 %	130.2 %
３月	40,530	199,981	20.3 %	146.7 %	133.9 %
合計	395,372	1,981,782	20.0 %	210.1 %	123.6 %
累計	5,307,831	27,983,755	19.0 %	－	－

7. 多言語化対応

区分	被爆体験記		証言ビデオ				リーフレット 翻訳言語状況
	翻訳編数 (A)	(A)のうち R5年度新規 追加(作成)編数	字幕付本数 (B)	(B)のうち R5年度新規 追加(作成)本数	吹替え本数 (C)	(C)のうち R5年度新規 追加(作成)本数	
1	英語	471	18	810		105	○
2	中国語	389	18	164		105	○
3	韓国・朝鮮語	388	18	163		105	○
4	アラビア語	9		11	1		○
5	イタリア語	9		11			○
6	インドネシア語	9		5			○
7	ウルドゥー語	9		5			○
8	オランダ語	9		5			○
9	ギリシャ語	9					
10	クロアチア語			4			
11	スウェーデン語	9		5	2		○
12	スペイン語	9		15			○
13	スロベニア語			6			
14	タイ語	9		5			○
15	ドイツ語	9		40	1		○
16	ノルウェー語	9					
17	ハンガリー語			12	1		
18	ヒンディー語	9		9	1		○
19	フィリピン語	9		5			○
20	フィンランド語	9					
21	フランス語	9		31			○
22	ヘブライ語	9		5			○
23	ベトナム語	9		5			○
24	ポーランド語	9		9	1		○
25	ポルトガル語	9		11			○
26	マレー語	9		5	2		○
27	ロシア語	9		12	3		○
合計編・本数 (作成)		1,437	54	1,353	12	315	0
合計言語数 (作成)		24	3	24	8	3	0
							21

※ 1 上記以外にも平成29年度は、海外原爆展への協力事業として字幕付き証言ビデオ【ハンガリー語（1本）及びモンテネグロ語（1本）】を製作した。
しかし館内システムやグローバルネットワークでの公開は行っていないため、合計編・本数及び合計言語数から除いている（2024年3月末日現在）